

## 城地免西遺跡の発掘調査成果について

## 1. 遺跡の概要

遺 跡 名 城地免西（じょうじめんにし）遺跡  
所 在 地 長岡市寺泊田尻地内  
遺跡の時代 奈良・平安時代  
遺跡の種別 遺物包含地  
遺跡の立地 西山丘陵（東側丘陵）の裾部に接する田面

## 2. 調査の概要

調査原因 県営圃場整備事業  
調査期間 令和4年7月4日～8月31日  
調査面積 450 m<sup>2</sup>  
調査成果 検出した遺構は土坑、溝、性格不明遺構、ピットで、いずれも古代に帰属する  
と考えられる。性格不明遺構の SX13 は土坑状を呈し、大量の土師器・須恵器  
の食膳具が焼土ブロックと共に出土した。検出したピットのうち4か所から  
柱根が出土した。遺物は古代の土師器、須恵器の他に、縄文土器、土製品、石  
製品、鍛冶関連遺物、銭貨、木製品が出土した。寺泊田尻地区で初めての古代  
遺跡の確認例であり、当該地域の集落の成り立ちを考えるうえで重要な遺跡  
として評価できる。



遺跡遠景  
（南西から）  
信濃川を望む

